

一	宮	市																		
ウ	オ	ー	カ	ブ	ル	空	間	デ	ザ	イ	ン									
プ	ロ	ジ	エ	ク	ト															

Ver.2022.05

一 宮 市

Contents

1. 一宮市まちなかウォーカーカブル推進事業について
2. 一宮市中心市街地の現況分析と課題抽出
3. プロジェクトのコンセプトと基本方針
4. 具体的な取り組み内容
5. 社会実験/未来ビジョン/エリアプラットフォーム

まちなかウォーカブルとは

○まちなか

一宮駅周辺の中心市街地

○Walkable（ウォーカブル）

「歩く」の“walk”と「～できる」の“able”を組み合わせて作られた
「歩くことができる、歩きやすい」という意味の形容詞で 地域環境の歩
きやすさを表す概念

まちなかウォーカブルとは

道路、駅前広場、公園及び駅前ビル等の都市アセットのリノベーション

居心地が良い空間＝歩きたくなるようなまちなかを創出

人が主役となる豊かな日々の生活を実現するまちづくり



曜日や時間帯に応じて道路空間の使い方が変わる路側マネジメント

都市の多様性・生産性の向上による
まちのアップデート



人中心の空間として再生した、まちのメインストリート

出典：国土交通省「2040年、道路の景色が変わる」

期待している効果

新たな事業や雇用の創出

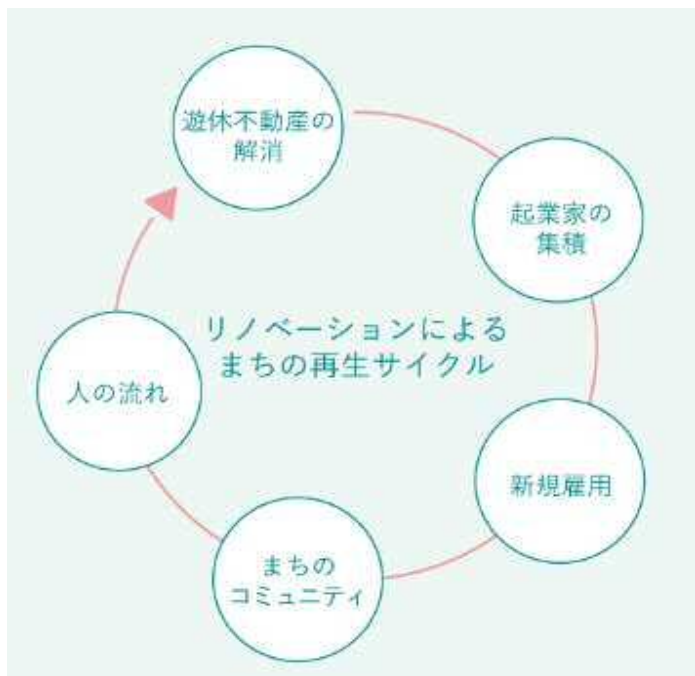
ハードとソフトが連携した都市再生の取組みにより、新たな雇用や事業の創出

来街者や滞在時間の増加

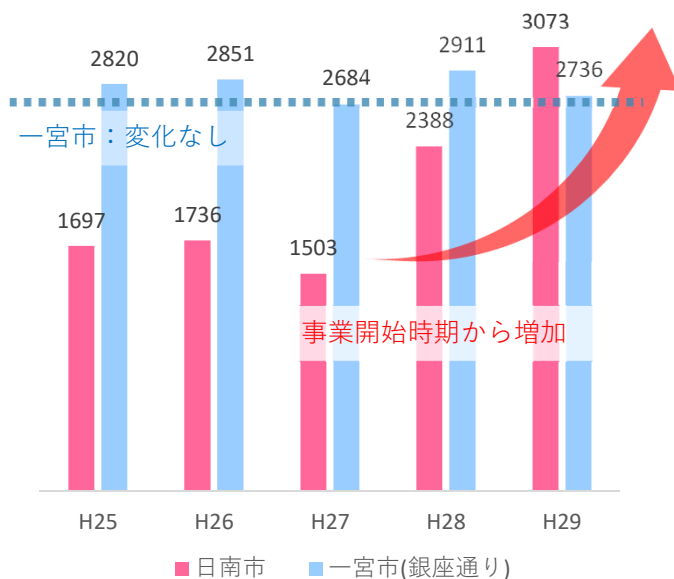
まちなかでのアクティビティを創造するきっかけづくりなどの都市再生の取組みにより、来街者数や滞在時間などの増加

資産価値の維持・向上

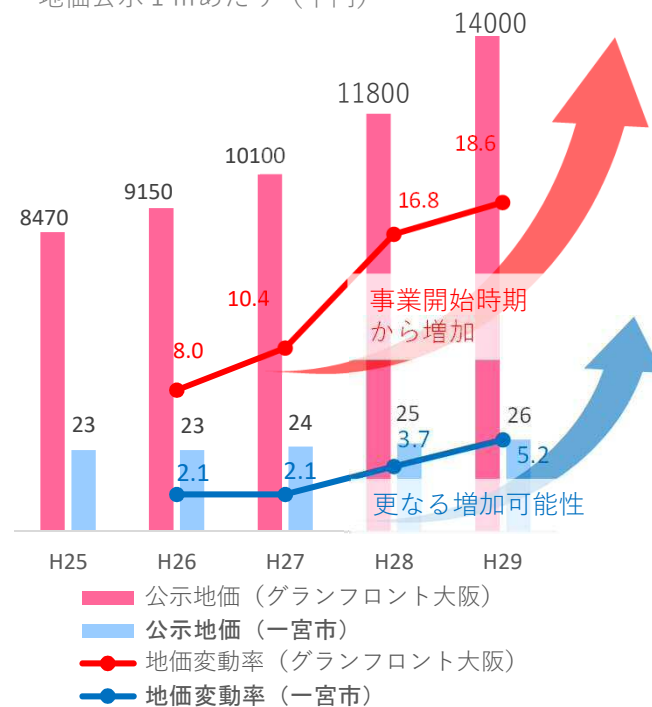
住民を含む多様な主体が継続的に取組むことにより、土地や建物の不動産価値が周辺に比べて高まったり、下落しにくくなる



1日平均歩行者・自転車通行量（人／日）

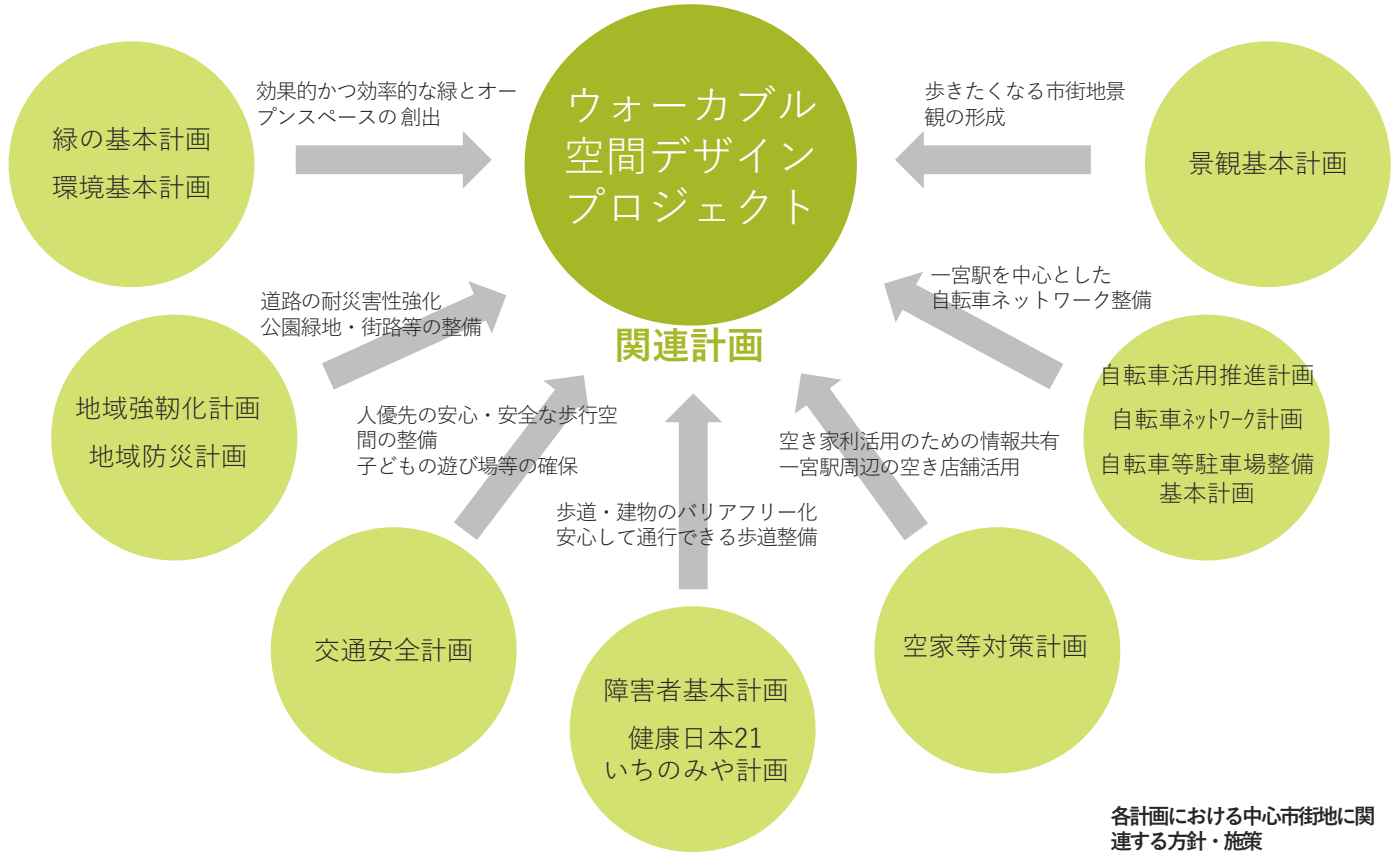
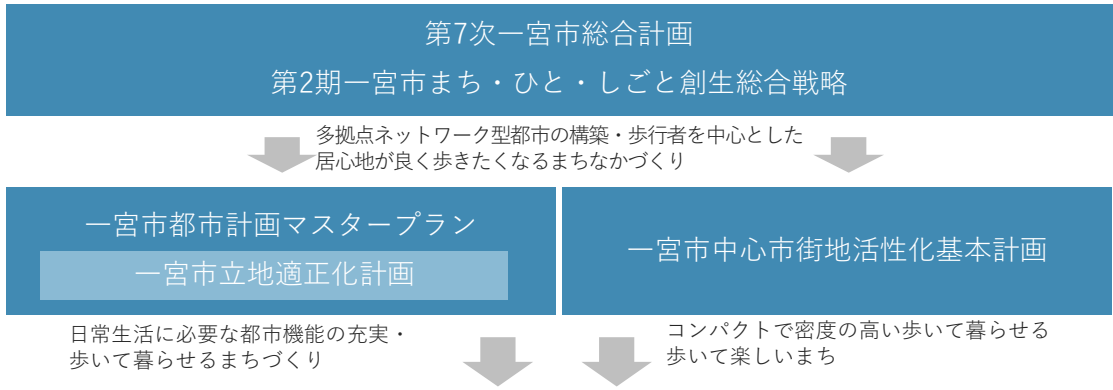


地価公示 1㎡あたり（千円）



プロジェクトの位置づけ

上位計画



各計画における中心市街地に関連する方針・施策

プロジェクト推進のポイント

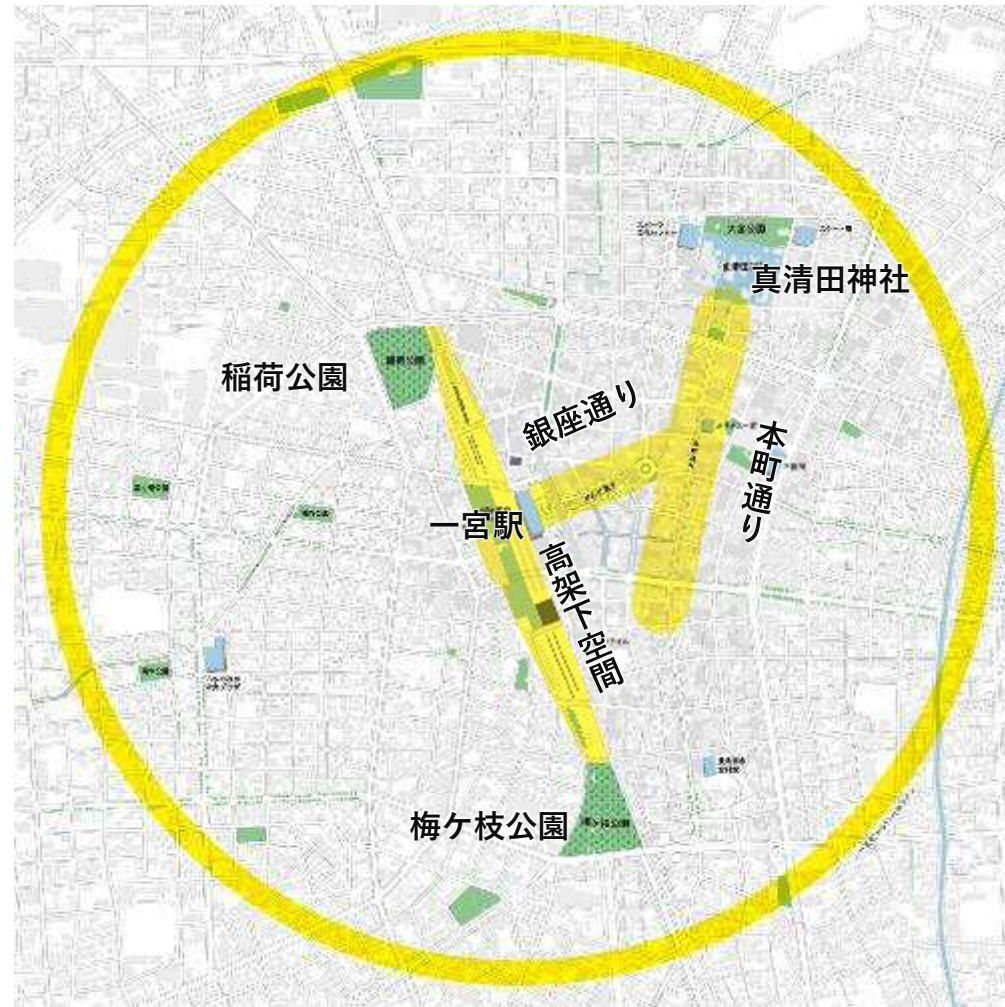
- ① **民と公の連携**により、賑わいのある空間・人・仕組みを一体的に作り上げる
- ② **暮らす人・訪れる人の目線**で
まちの安全安心や快適、新たな魅力の発見に応える
- ③ **歴史や文化**を次世代に引き継ぐ
- ④ **SDGs達成**に向けた持続可能なまちづくり
- ⑤ **ポストコロナ**に対応し新しい技術や価値観を積極的に取り入れる
- ⑥ **EBPM**に根差したプロジェクトの推進

Contents

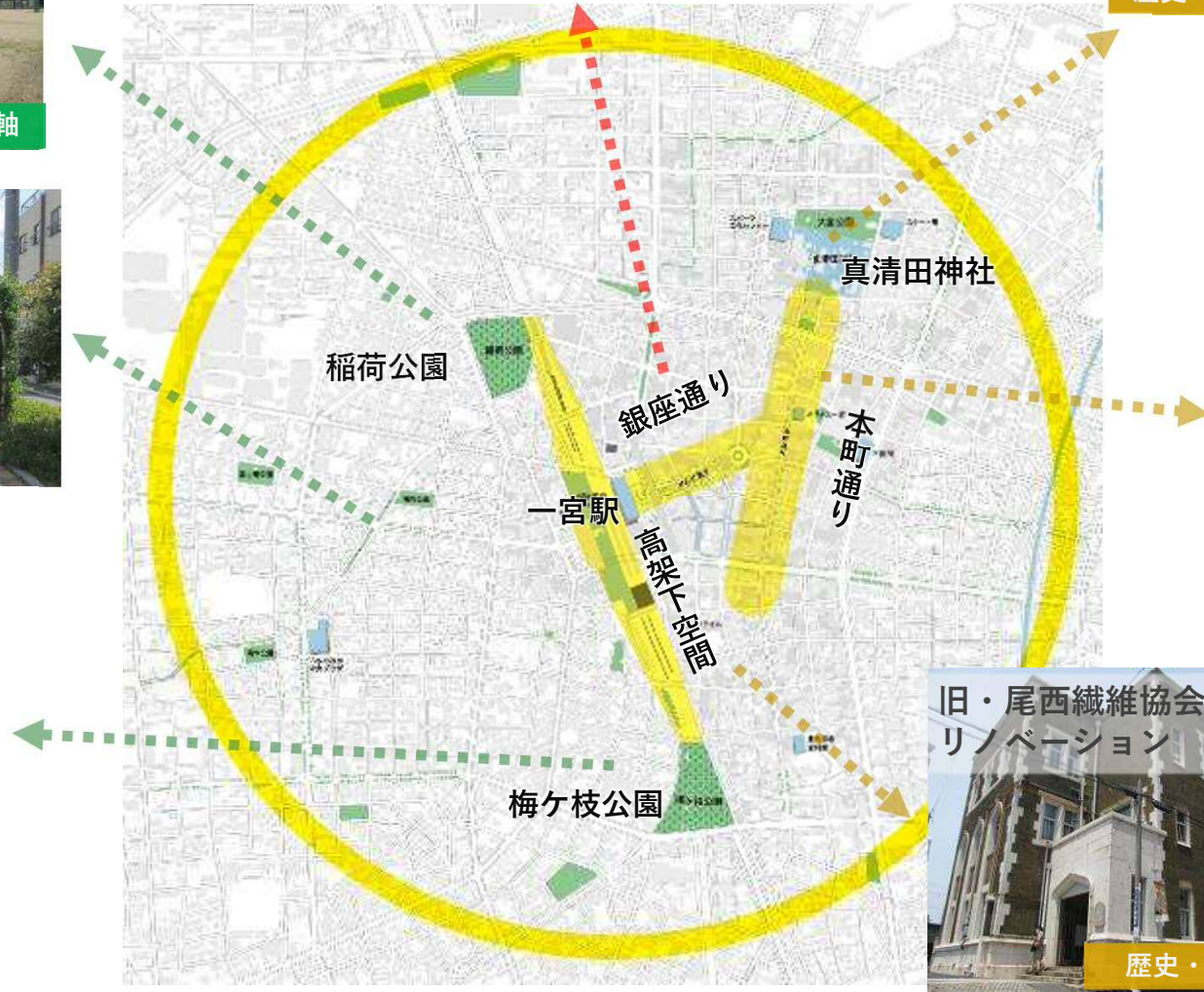
1. 一宮市まちなかウォーカーカブル推進事業について
2. 一宮市中心市街地の現況分析と課題抽出
3. プロジェクトのコンセプトと基本方針
4. 具体的な取り組み内容
5. 社会実験/未来ビジョン/エリアプラットフォーム

対象エリア

- 一宮駅から**半径1km圏内**
- 真清田神社の参道に位置するアーケード商店街である**本町通り**、公園間を結ぶ**高架下空間**、駅から延びるシンボルロードである**銀座通り**の3つが主要動線



対象エリア



エリアの現況分析

① 一宮駅の立地とポテンシャル

名古屋駅及び岐阜駅から鉄道で10分一宮駅の乗降者数は約9万人/日

② 居住と開発

一宮駅1km圏には市内の約6.6%の人が居住しており**2000年以降横ばい**が続いている

③ 土地利用

一宮駅1km圏の用途は、約4割が商業地域、約3割が近隣商業地域と**商業系用途**に指定

④ 生活施設

駅前のデパートやi-ビル内の各種都市機能を中心に、**商業・文化・医療・子育て施設等**が立地

⑤ 公共空間

自動車中心で、特に一宮駅東側500m圏内では**土地の3分の1以上を車道空間**が占めている

⑥ 緑と公園

この地域の緑被率は4.8%と、市内で**最も低く緑が少ない**

⑦ 人流分析

一宮駅周辺の1時間以上の滞在人口は1日平均3.0~3.5万人で **駅から市役所にかけて多い**

⑧ 市民ニーズ

市政アンケートでは、「にぎわいを感じない」が **約8割**

⑨ にぎわいづくりの効果

まちの宮市などイベントを行うと **人出が増加**（R3社会実験では約2倍）

エリアの現況分析

エリア課題

- 一宮駅周辺は人口は微増傾向にあるものの、従業者の減少数が大きく、商業・業務機能の空洞化が進行しており、一宮市の顔となる中心市街地でありながら**日中の滞在人口が少なく魅力や賑わいが不足**
- 多くの乗降者数がある拠点駅が中心にありながら、駅利用や乗り継ぎのみに留まっている傾向が強く、**エリア全体に人の流れを生み出せていない**
- 平面駐車場など小規模な低未利用地、空き地や空き家も増加傾向にあり**都市のスポンジ化の進行**が懸念される
- 公共空間を利活用できる素地があることや真清田神社や大江川の桜などの多様な地域資源があるものの、**それらが個別分散化しているため包括的な活用ができてない**
- 多くの民間プレイヤーが活動を行っているが、個々に繋がりがないため**単発的イベントで終わっており持続性のある”まちづくり”まで至っていない**

Contents

1. 一宮市まちなかウォーカーカブル推進事業について
2. 一宮市中心市街地の現況分析と課題抽出
3. プロジェクトのコンセプトと基本方針
4. 具体的な取り組み内容
5. 社会実験/未来ビジョン/エリアプラットフォーム

プロジェクト構想の策定方針

策定目的

- 2021年の市制施行100周年や中核市移行、リニア整備により今以上に名古屋都市圏全体で都市機能集積が期待できることなど、**都市として自立し、アップデートできるまちへと転換するターニングポイント**を迎えている
- コロナ感染症拡大を契機に、名古屋への通勤者を中心に日中も市内やエリア内で過ごす人が増加する可能性も想定できる。このタイミングで、「**ポストコロナ**」の**新たな日常を発想し、安全で快適な新しいウォーカブルモデル**を構築する

**つながり・ひろがる・杜と人が織りなすウォーカブルシティへ
“活かすべきものを活かし、つなぎ、ひろげ、みんながまだ気づいていない方向へ”**

将来像

- **個別の空間資源や人の営みをつなぐことで新たな価値や動きを広げ、多様な人と場所が広がるウォーカブルシティを形成**
- **人が主役となることができ、誰もが暮らすだけでなく働ける・稼げるまちに転換し都市機能を引き込める素地として、一宮市の顔にふさわしい、人や企業に選ばれる”居心地の良い空間づくり 歩きたくなるようなまちなか”を実現する**

取り組みの展開方針

<目標>
**3つの軸の再定義で
 エリアの骨格をかたちづくる**

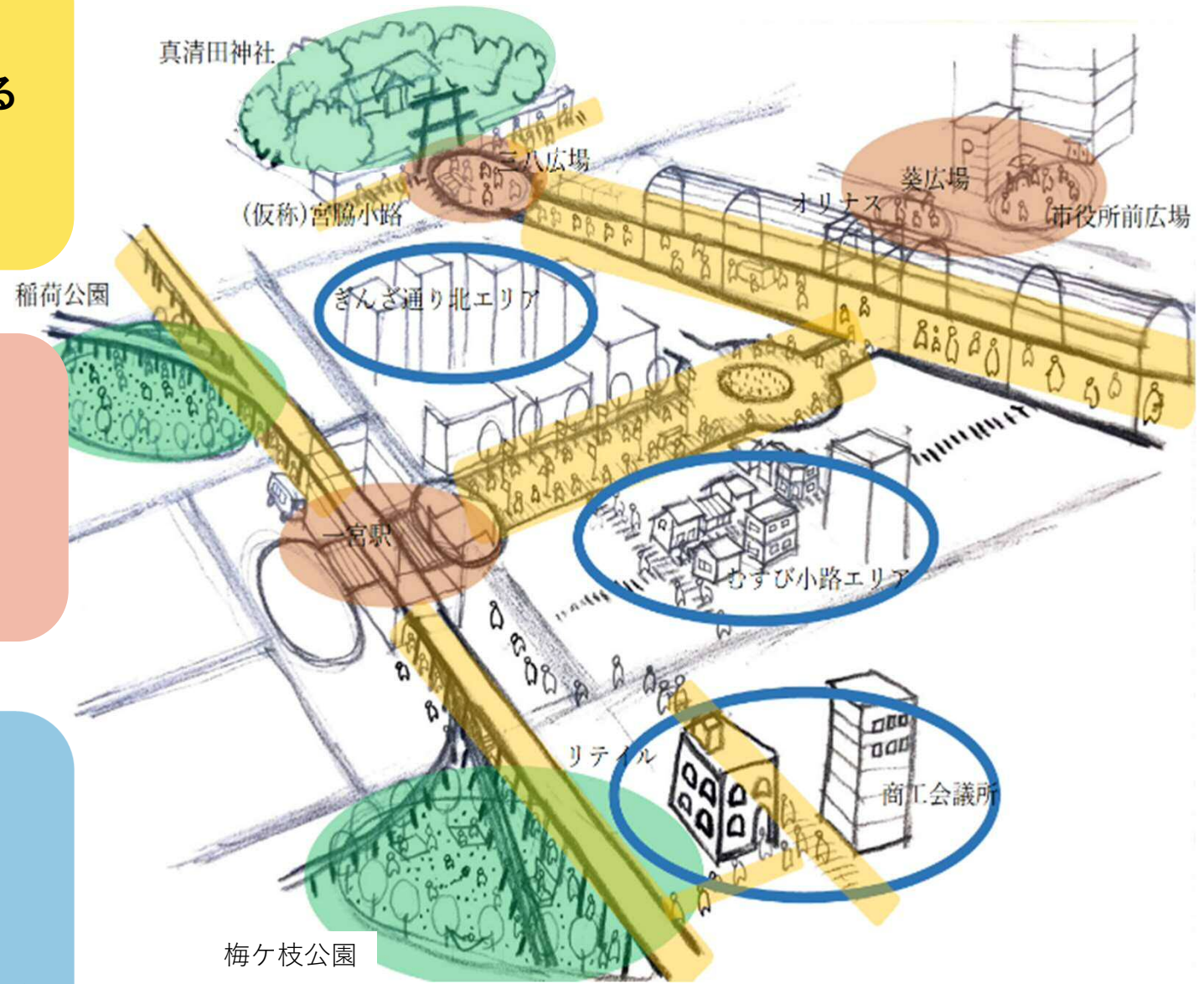
エリアの人の流れを支える
 3つの軸を明確に位置付け、
 ウォーカブルエリアの骨格をつくる

<取り組み>
**様々なスケールの取り組みで
 まちを面的につなげる**

3つの軸を中心にソフト・ハード、
 大小・官民の様々な取り組みで
 まちの面的な回遊性を高める

<展開>
**エリアリノベーションで
 魅力をひろげる**

3つの軸から周辺のエリアへ、
 空き家・路地活用から開発誘導まで
 将来的に魅力あるまちなみ形成を誘導する



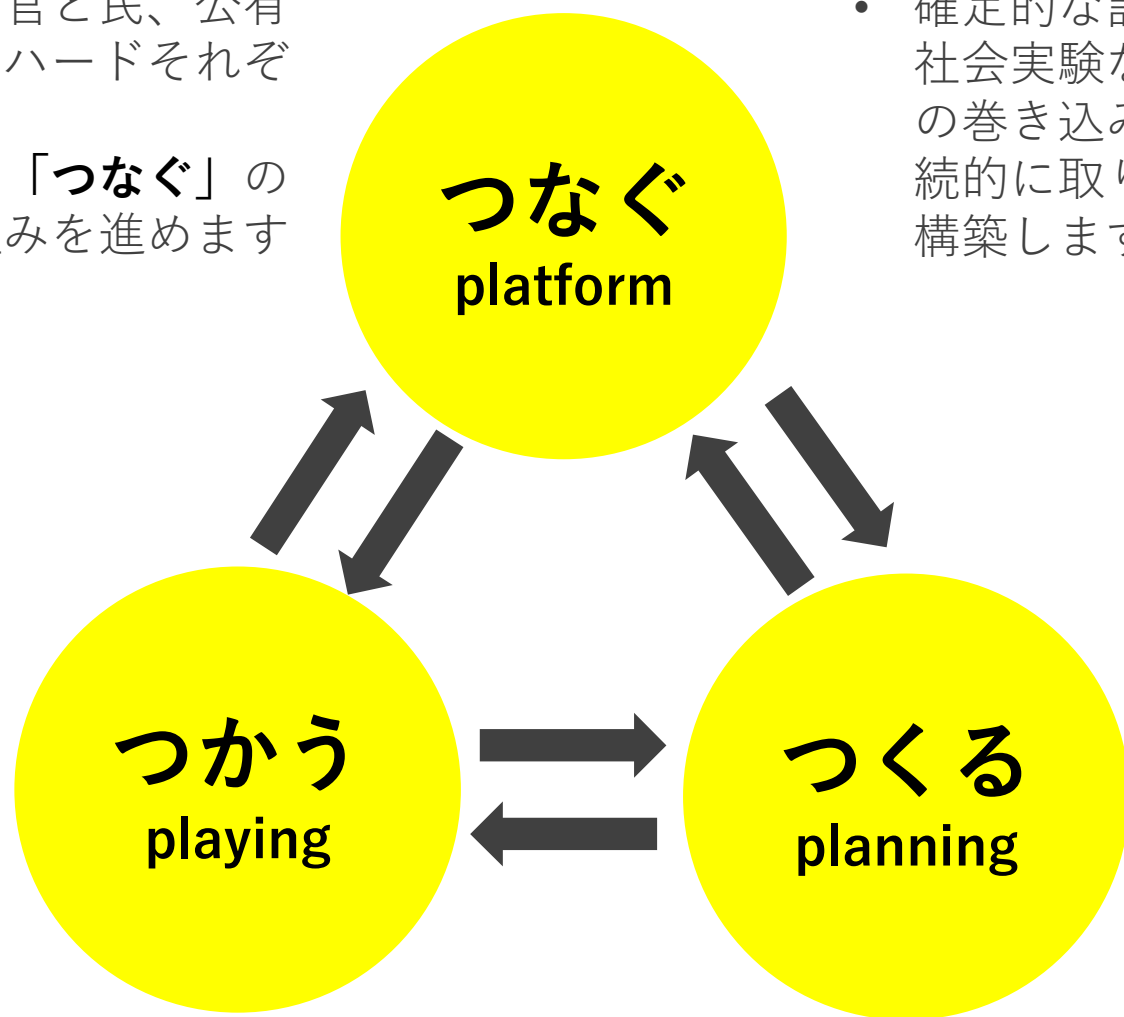
Contents

1. 一宮市まちなかウォーカーカブル推進事業について
2. 一宮市中心市街地の現況分析と課題抽出
3. プロジェクトのコンセプトと基本方針
4. 具体的な取り組み内容
5. 社会実験/未来ビジョン/エリアプラットフォーム

取り組みの枠組み

エリアを つなぐ
担い手を つなぐ
多世代を つなぐ

...



- 構想の実現に向けて、官と民、公有地と民有地、ソフトとハードそれぞれを織り交ぜながら、
- 「つかう」「つくる」「つなぐ」の3つの枠組みで取り組みを進めます

- 確定的な計画を策定するのではなく、社会実験などの試行や実証、担い手の巻き込みを進めながら、徐々に持続的に取り組みを展開する仕組みを構築します

道路空間を つかう
公園広場を つかう
空地空家を つかう
...

銀座通りを つくる
本町通りを つくる
高架下を つくる
...

「つかう」取り組み

- エリアに眠る様々なポテンシャルを持った場所をより有効に活用することで、まちに多様な賑わいとアクティビティを生み出す取り組みを展開します
- それぞれの場所を管理する主体と協議をしながら、「つかいたい人」と「つかいたい場所」をつなぐ様々なサポートを取り組みの中で展開します



道路空間をつかう

- 歩道利活用促進や規制緩和に向けた社会実験
- 道路占用ルールの情報発信など、歩道活用の促進に向けた取り組みを展開します

実施主体
都市計画課・道水路管理課
民間主体（活用）



公園広場をつかう

- 公園広場利活用の促進や規制緩和に向けた社会実験
- 占用窓口の一本化と情報提供など、公園広場活用の促進に向けた取り組みを展開します

実施主体
都市計画課・公園緑地課
民間主体（活用）



空地空家をつかう

- 空地空家活用に向けた支援
- モデルプロジェクトの創出
- 空き家に関する情報提供など、空地空家の促進に向けた取り組みを展開します

実施主体
商工観光課・一宮市商工会議所
民間主体（活用）

「つくる」取り組み

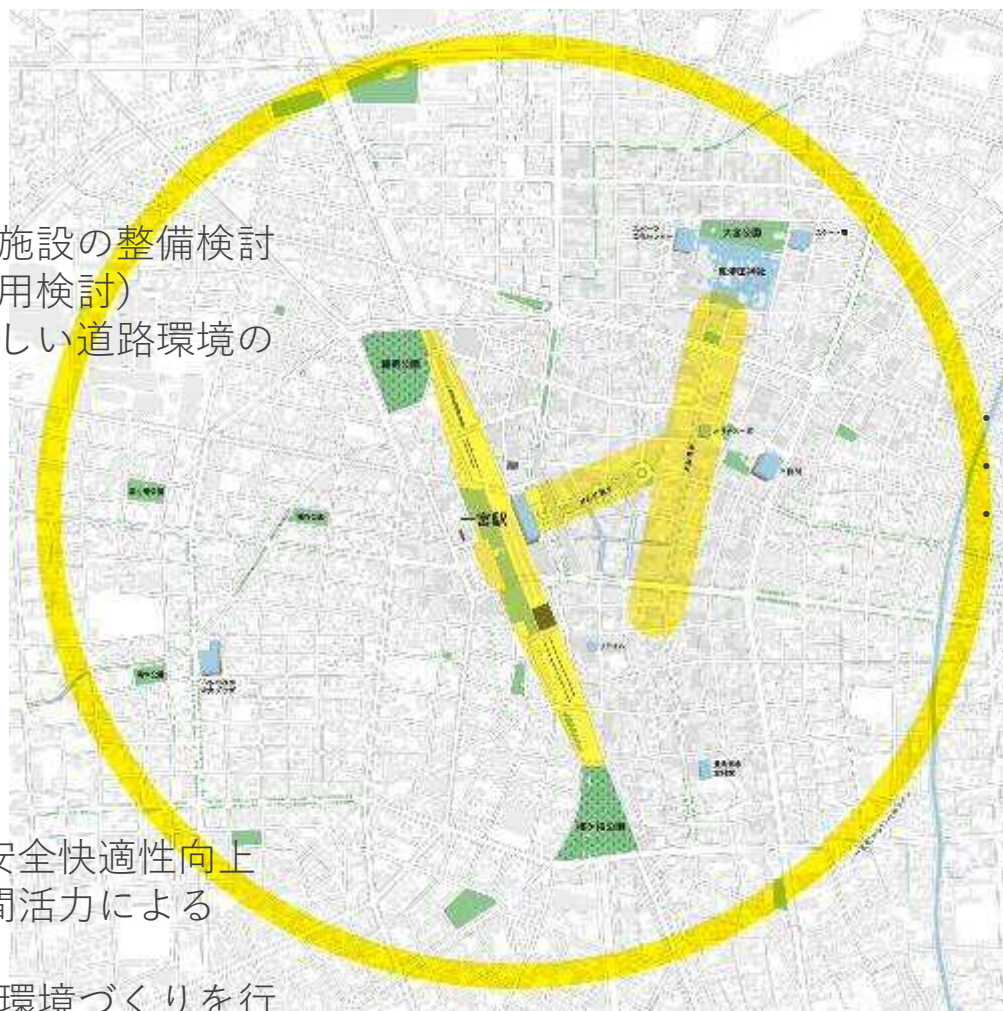
- エリアのこれからの中心となる3つの主要軸について、大小さまざまな改修や利活用の促進をはかり、エリア全体の回遊性を高める環境づくりを行います
- 「つくる」取り組みと合わせて、これまで以上に多様なアクティビティが生まれ、それぞれに新しい魅力を備えたエリア創出を目指します

銀座通りをつくる

- 道路空間の再整備と高質化
 - 民間活力を活用した賑わい施設の整備検討
(歩行者利便増進道路の適用検討)
- など、シンボルロードに相応しい道路環境の創出を行います

高架下をつくる

- サイン・付属物改修による安全快適性向上
 - 梅ヶ枝公園・稲荷公園の民間活力による滞在環境向上
- など、暮らしの軸に相応しい環境づくりを行います

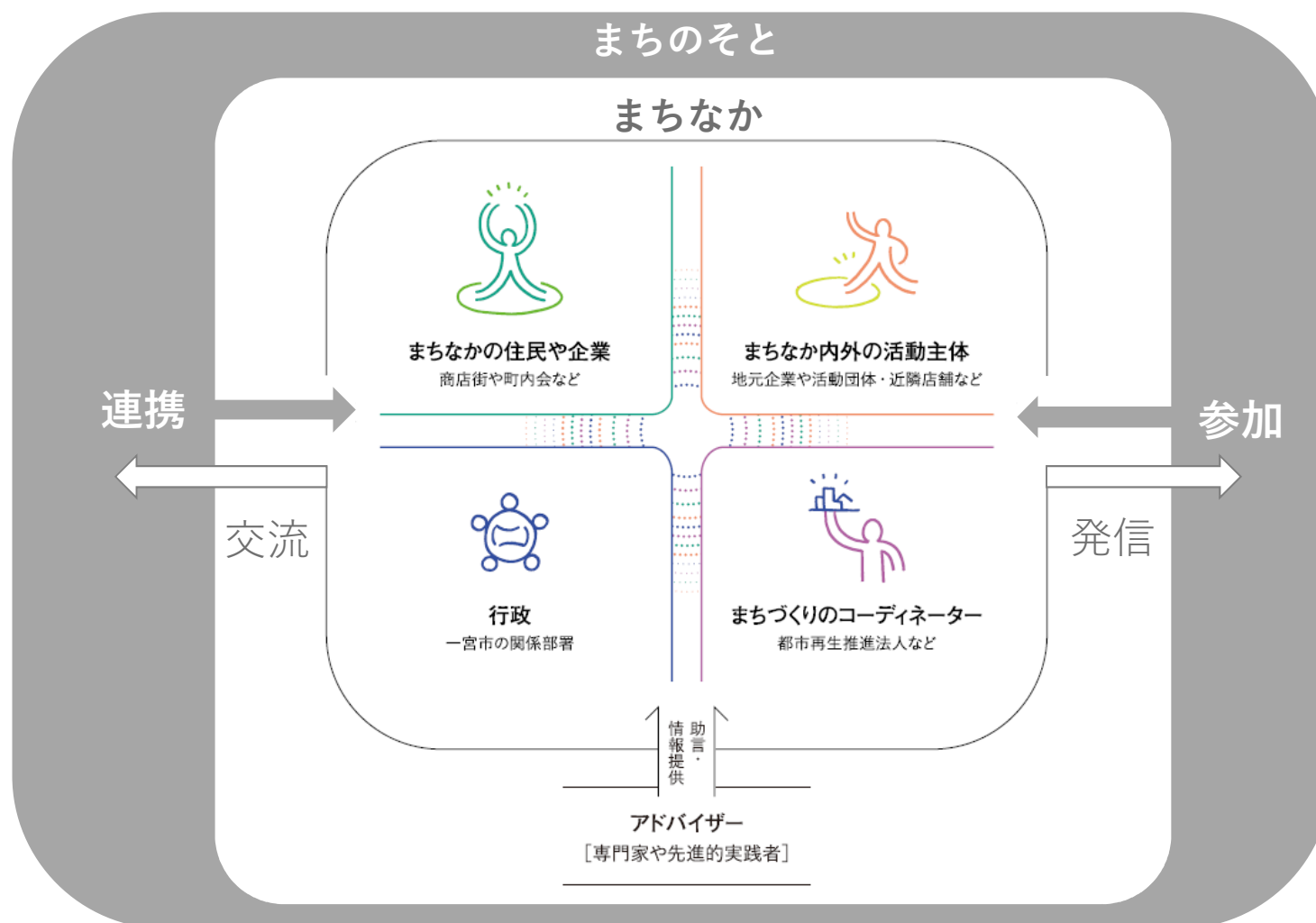


本町通りをつくる

- 沿道の空店舗や空地の有効利用促進
- 隣接広場や道路の高質化や柔軟利用
- Wi-Fiやベンチなど滞在環境充実
など、歴史と文化の軸に相応しい環境づくりを行います

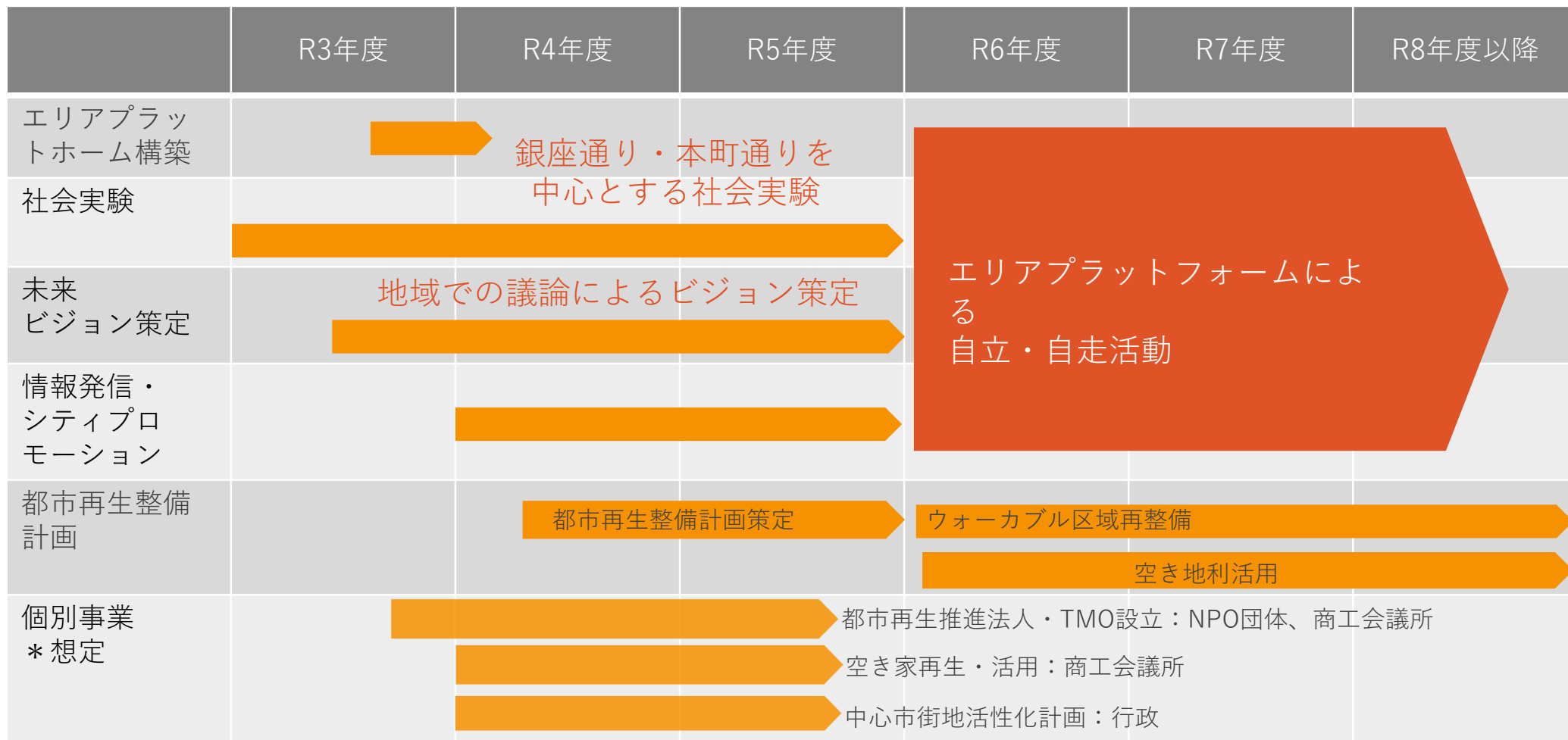
「つなぐ」取り組み

- これまでバラバラに活動してきたエリアの活動主体が一体となってエリア再生の取り組みを推進できるエリアプラットフォームの構築を行います
- エリアプラットフォームがエリア再生に向けた取り組みを進めることで、一宮市全体で活動している多様な活動主体が、駅前での活動に興味を持ち、新たな拠点とすることで、駅と市全体を全体をつなぎ、相互に活性化する仕組みづくりを行います



プロジェクトスケジュール

- ・ 令和3年度からはエリアプラットフォーム構築と未来ビジョン策定に着手
- ・ 社会実験を重ねながら実現性や継続性を検証し、具体的な取り組みへと展開



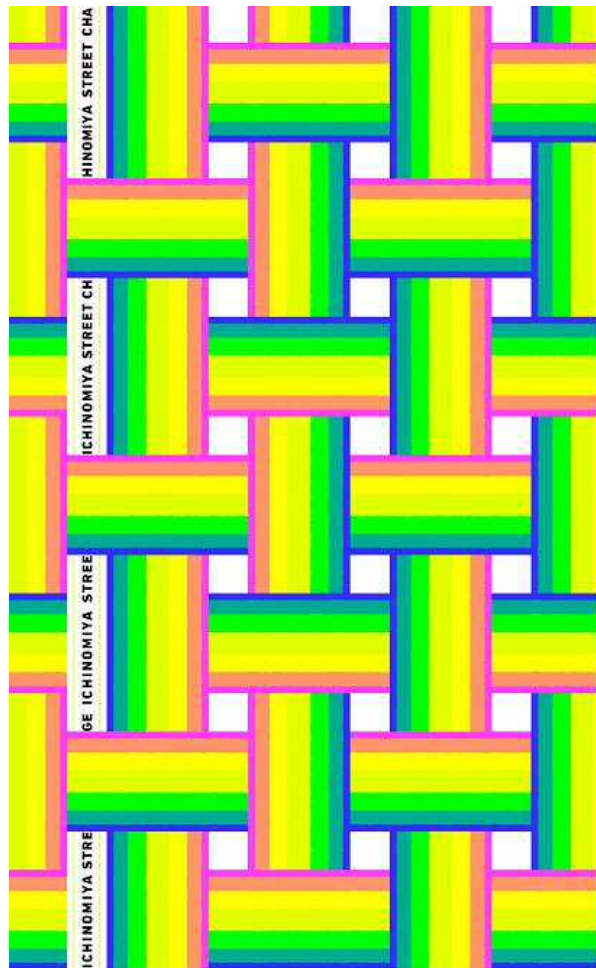
Contents

1. 一宮市まちなかウォーカーカブル推進事業について
2. 一宮市中心市街地の現況分析と課題抽出
3. プロジェクトのコンセプトと基本方針
4. 具体的な取り組み内容
5. 社会実験/未来ビジョン/エリアプラットフォーム

つかう取り組み 社会実験における検証内容

「実際にやってみる・使ってみる」ことで得られた知見で新たな日常づくりにつなげるため机上ではわからない課題や効果を銀座通り等の公共空間で検証する

論点	検証内容の例
歩きやすく 過ごしやすい 空間の検証	<ul style="list-style-type: none"> • 多くの人滞りしやすい公共空間デザインとは？ • 一宮駅からまちへと人が出てくる可能性は？ • どんな場所でどんな活動が日常的な賑わいを生むのか？
交通運用変更の 可能性検証	<ul style="list-style-type: none"> • (銀座通り) 一方通行化や通行止めによる交通影響は？ • 自転車と人、自動車の適切な役割分担とは？ • 将来の交通運用変更の可能性は？
公共空間の活用や 注目に向けた きっかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 道路における様々なアクティビティがどんな風景を生むのか？ • それに対する市民の反応は？ • 公共空間の活用を通じて新しく「やってみたい」は生まれる？
新しい公共空間の 使い方の検証	<ul style="list-style-type: none"> • 一宮らしい新しい公共空間の使い方は？ • プレイヤーにとって公共空間を利用するうえでの課題は？ (手続き？ルール？立地や空間の問題など) • 担い手同士の共創やネットワークが生まれるきっかけになる？



まちなかウォークブル社会実験 ストリートチャレンジ 2021 10.22 | 金 | - 11.12 | 金 | Ichinomiya Street Challenge

銀座通り通行止め期間

10.22 | 金 | 17:00-22:00

10.23 | 土 | ・ 24 | 日 | 8:00-22:00

シンボルロードである銀座通りや本町通りを中心としたエリアにおいて、3週間にわたる社会実験を行います。ゆったりとくつろいだり、いろんな活動を行える空間へと変えていくため、今よりもっと居心地がよく、魅力と豊かさにあふれ、そしていつも新しい発見やワクワク感のある“まちなか”へと変えていくためのきっかけとしていきます。みなさんがそれぞれに想う「やりたいこと」を少しづつでも実現しながら、新しい驚きと発見の生まれる新たなまちなかの風景を描きませんか。

18プログラムの実施

10/23 実施プログラム

11:00~20:00
トミダヤマ
ピーチフェス & キャンプ
(TokinTokin/sotocasa/mizube38)

11:00~16:00
■ まちなかバウンズパーク
(BounceClub138 ママ)
■ POLA アスティー宮店

11:00~16:00
■ びしゅう産地の文化祭+ストリートションヘル
(尾州のカレント)
■ ひつじのいる日常 (ハウスカバイッカ)
■ パーラーユーモアと...。(パーラーユーモア)

18:00~20:00
100 ウォーク
「尾州素材のファッションショー」
(キオン・スチューディオ)

11:00~16:00
■ Go to Read まちなかで本を読もう
(りふらぼ一宮市の図書館イベントボランティア)
■ ラジオパーソナリティ体験ブース
(FM いちのみや株式会社)

10/24 実施プログラム

11:00~16:00
トミダヤマ
ピーチフェス & キャンプ
(TokinTokin/sotocasa/mizube38)

13:00~16:00
ストリートションヘル
(尾州のカレント)

10:00~19:00
■ 木の暮らしSDGs & 森のとびら
(株式会社エコ建築考房)
■ トリックアートフォトスポット
(いちのみや秋まつり実行委員会)

11:00~16:00
■ ひつじのいる日常
(ハウスカバイッカ)
■ Go to Read まちなかで本を読もう
(りふらぼ一宮市の図書館イベントボランティア)

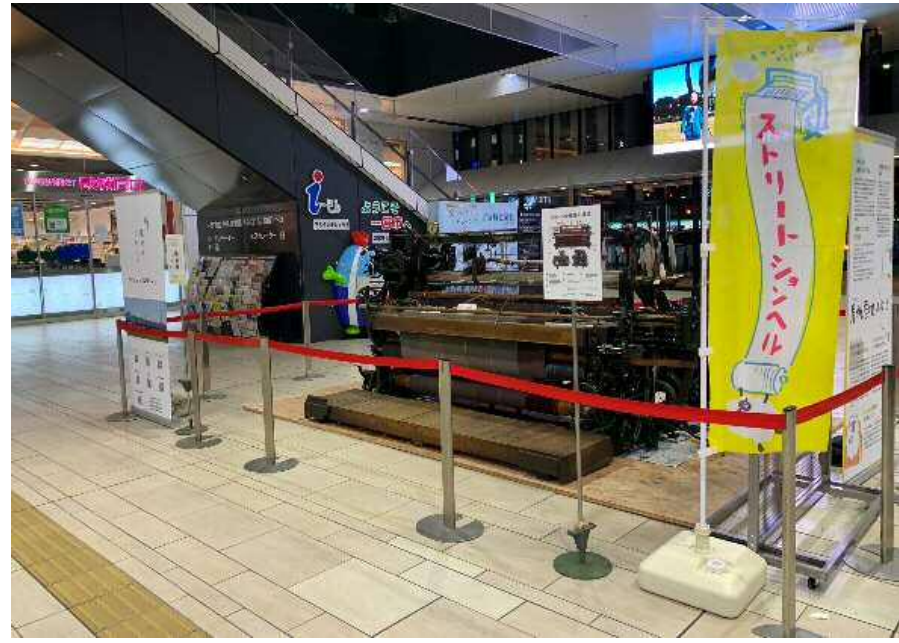
実施状況 銀座通り



実施状況
本町通り
ほか



実施状況 駅コンコース/什器



未来ビジョン：ワークショップの開催

一宮のまちなか空間で実現したい将来像や役割を様々な立場の市民が話し合っ共有し、そこから見えてくる必要な取組みを地域・民間が一体となって提案していくもの

- (1回目) 日時：11月10日(水) 18:30~20:30
- 参加者：社会実験に協力頂いた方 計 26名
- 内容：①社会実験ストリートチャレンジ2021のふりかえり
②社会実験を通じて感じたまちなかへの期待と不安、役割など

一宮市ウォークアブル空間デザインプロジェクト
ストリートチャレンジ2021を終えて…

まちなかウォークアブル社会実験ストリートチャレンジ2021
主催：一宮市駅前再開発
共催：一宮市利通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目商店街振興組合/銀座商店街振興組合/特定非営利活動法人共益遊いものみやぎ
運営協力：大日本コンサルタント㈱(NPC)まもの造園育くみ㈱/ambiantdesigns

ストリートチャレンジ2021から見えてきた「期待」や「課題」

10月22日~11月12日に社会実験ストリートチャレンジ2021を一宮駅前・銀座通り・本町通り・葵公園・夢織り広場などの駅周辺の公共空間を開放して行いました。イベント・マルシェ・体験ワークショップなど、さまざまな活動から見えてきたまちなかへの期待や課題など、まちを訪れてもらった方や実験を行ってくれた方々から、いろんな意見を頂きました。



公共空間を開放したら…

新たなまちなかの風景がうまれました

● 来街者の声

どのような「まちなか」に生まれ変わればもっと訪れたい？

- ・イベントが盛んに行われている…65%
- ・ここにしかない魅力的な店が集まる…49%
- ・こどものあそび場と合わせて大人も楽しめる…35%
- ・緑豊かな空間…33%



● 実験実施者の声

期待

- ・一時的なイベントではなく、日常の魅力へ
- ・一宮らしさが文化につながる
- ・ポテンシャルがある駅前公共空間を民が使いやすく

課題

- ・まちなかに興味がない
- ・情報発信、告知方法が不足、回遊マップがない
- ・駐車場、空き家、駅ビルなどの既存施設の活用



未来ビジョン：ワークショップの開催

(2回目) 日 時：12月15日(水) 18:30~20:30

参加者：社会実験に協力頂いた方、まちなかに関心のある企業など 計 26名

内 容：一宮のまちなかで実現したい未来を創造する

一宮市ウォーカーブル空間デザインプロジェクト
未来デザインワークショップ Vol.1
 日時：2021年12月15日(水) 18:30~20:30 / 場 所：オリナス一宮 3階

参加者：まちなかに関心のある市民、地元団体、企業など 26名
 主催：一宮市都市計画課
 共催：一宮市本町通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目商店街振興組合/銀座商店街振興組合
 特定非営利活動法人志長連いのみや
 運営協力：大日本コンサルタント株/(NPO)まちなかの縁側育くみ隊

テーマ/一宮のまちなかで実現したい未来を想像(創造)する

歩きたくなる、くつろぎたくなる、行ってみたいくなるまちなかを、民と官が連携して創り上げていく「ウォーカーブル」なまちづくり...
 身近で参考となる先進都市が創ったまちの風景を紹介した後、グループに分かれてみんなで自由な話し合いをおこないました。
 「つくる・つかう・つなぐ」の3つの視点を取り入れながら、実現したいまちなかへ向けた第一歩となりました。



未来ビジョン：ワークショップの開催

(3回目) 日 時：12月15日(水) 18:30~20:30

参加者：社会実験に協力頂いた方、まちなかに関心のある企業など 計 26名

内 容：一宮のまちなかで実現したい未来を創造する

一宮市ウォーカブル空間デザインプロジェクト
未来デザインワークショップ Vol.2
 日時：2022年3月7日(月) 18:30~20:30 / 場 所：オンライン開催(一部、市役所会議室にて)

参加者：まちなかに関心のある市民、地元団体、企業など 26名
 主催：一宮市都市計画課
 共催：一宮市本町通一丁目・二丁目・三丁目・四丁目商店街振興組合/銀座商店街振興組合
 特定非営利活動法人孝民連いのみや
 運営協力：大日本コンサルタント社/(NPO)まちの縁側育くみ隊

テーマ/一宮の未来デザインを構想する

歩きたくなる、くつろぎたくなる、行ってみたいくなるまちなかを、民と官が連携して創り上げていく「ウォーカブル」なまちづくり…
実現したい一宮市の未来のまちなかへ向けたそれぞれの想いを話し合い、具体的なアイデアも浮かんできました。

いろんな想いを紡ぐ 未来のまちなか

みどりがあり
子どもも
くつろげるまち

- ・駅からまちなかまで続く大きな公園や広場があるといいね
- ・駅前にもっと緑の空間がほしい!
- ・子どもが遊べる、楽しめる空間が駅前や駅に近いところにあるといいな~
- ・子どもと絵本、そこに人が集まる風景
- ・小さいころから色んなコトに触られる環境や可能性がわかる空間



若者よそ者が
チャレンジ
できるまち

- ・公共空間や空き家、空き店舗を活かし若者やよそ者がどんどんチャレンジ!
- ・よそ者も関われる居場所づくり(ゲストハウス)
- ・スケート場跡を人気のスケボーパークに!?
- ・若者に空間を提供して使ってもらい仕組みづくり
- ・若者が参加するには間口が開き、そこから見えるコトやお互いにどんな人がいるかを知り、共有することが大事!

一宮らしさや文化を
感じられるまち

- ・「センイ」のPRだけでなくファッションショーや手に触られる店があるね
- ・喫茶文化のほか味噌煮込みなど一宮発祥の文化や真清田神社を感じられるまちへ
- ・一宮らしさが「繊維」ならばまちなかにも「ひつじ」がいる風景を日常にしたい!
- ・まちなかは商いだけでなく文化的な拠点として人が集まる場所へ…
- ・まちとして若い人が集まれるカルチャーを育てることを考えるべき



オンラインにより実施

R4の予定

- ・未来ビジョンの策定
 - ➔未来デザインワークショップ
 - ➔社会実験
- ・事業プロモーション
 - ➔エリアマップなどの制作

○未来ビジョンとは
 地域の特性の現況分析
 地域の特性を踏まえた目指す姿
 目指す姿に向けた施策と役割分担
 目指す姿にむけたロードマップ



エリアプラットフォーム

社会実験プレイヤー
 商店街、NPO
 を中心とした組織

**未来デザイン
 ワークショップ**
 まちなかで実現したい
 未来を想像（創造）する
 ワーキング

プロモーション
 駅周辺エリアの
 “一宮市らしさ”をPRする
 WEBやマップ制作と制作
 する民間（市民）の育成

社会実験



駅東エリアを中心とした実証実験



10月～駅周辺公共空間の活用（3日間）



8月～滞在空間の設置



9月～歩道空間の活用



一過性のイベントでなく日常へつなぐ
 民とともに自由な活動を

社会実験 (案)

一過性のイベントでなく日常へつなぐことが第一
民間主導で自由なのが活性化にいい
文化にするという意識

実験A：10月初旬

- ・銀座通り（通行止め）、本町通り、葵公園など駅周辺一体
- ・公共空間の可変的・柔軟な利活用



実験C：夏～秋

- ・銀座通り歩道/本町通り歩道
- ・多目的拠点や什器の常設による魅力ある滞在空間の創出

実験B：10月中

- ・銀座通り歩道
- ・日常的な店舗出店やアート展示などの多目的な利活用
- ・国際芸術祭との連携調整中

